

PM2.5
を減らす!

富山県 中国への大気汚染対策支援 総括会 —20年以上に及ぶ環境協力の集大成—

草の根技術協力事業

3 千以下の人に
健康と福祉を

11 日本だけが
持ちつくりを

12 つくる責任
つくり責任



遼寧省

富山県と中国遼寧省¹をオンラインで結び、大気汚染の原因物質²を削減する技術普及のため2018年に開始した事業の総括会が行われました。コロナ禍により予定していた活動をオンラインに一部代替することとなりましたが、大連市で行われた調査は適切に実施され、作成した対策事例集は現地でも有効に活用されていることが確認されました。

富山県と遼寧省は1984年に友好県省を締結し、1998年からJICA草の根技術協力事業によって環境分野に関する協力³を継続的に行ってきました。本事業終了後も両者で環境改善や環境課題解決に向けた取組・調査研究などについて情報交換等が行われる予定です。



中国遼寧省¹

遼寧省は中華人民共和国東北部に位置する省であり、面積は約14.8万km²、人口4,190.2万人(2019年)、省都は瀋陽市。大連市は遼寧半島の南端に位置する中国東北部最大の港湾都市であり、船舶製造業、石油化学工業など多種多様な大規模工場が集積している。

大気汚染の原因物質²

本事業では、揮発性有機化合物(VOC)の削減技術普及の協力を行った。VOCとは、蒸発しやすく大気中で気体となる多種多様な物質の総称。工場や家庭等で溶剤や原料等として多用されるほか自動車等の燃料にも含まれ、光化学オキシダントやPM2.5などの大気汚染物質の原因の一つとされる。

環境分野に関する協力³

期間(年度)	事業内容
1998～2007	遼河流域や遼東湾の水質共同調査事業
2008～2010	黄砂に関する実態把握、成分分析等の共同調査事業
2012～2014	自動車排出ガス対策協力事業
2014～2016	揮発性有機化合物(VOC)対策協力事業
2018～2021	揮発性有機化合物(VOC)削減技術普及協力事業



中小企業向け SDGs入門セミナー報告

民間関連事業



2月10日(木)中小企業向けSDGs入門セミナーを開催いたしました!講師として日本工業大学大学院専任教授 中村明氏とニュー・エイジ・ディーシーCEO 松岡貴英氏をお招きし、SDGsの取り組み方やSDGsを用いた企業価値向上・ブランディングについて講演して頂きました。また、JICA中小企業支援事業を活用してポリビアへの展開を検討している(株)エコシステム高田社長にも登壇頂き、持続可能な社会実現への熱い想いを語って頂きました。今後も企業の皆様に役立つセミナーを計画していきます!



ポリビアとオンラインで繋いで技術指導をする高田社長の様子(左)

JICA北陸 インターンからひとこと

ラオス大好き、岡田龍之介です!埼玉出身、サッカーと語学が趣味です。大学ではラオス地域研究を専攻しています。インターンでは、組織の方向性を掴む大局観と、個々の業務の在り方を掴む局所観を磨きたいです!

岡田 龍之介

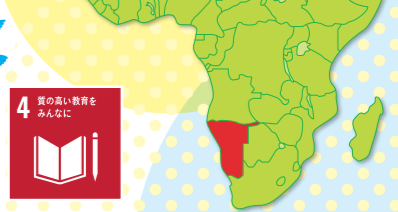
六渡 愛由

北陸センターでインターンシップをさせて頂きました、六渡です。将来国際協力を携わりたいことを目標に、大学では語学や国際関係論を学んでいます。業務を通じてJICAの取り組みや国内の地方の可能性を学び、今後の進路選択に活かせるよう頑張ります!



金沢駅にて(左から六渡さん、岡田さん)

川畑 舞さん JICA海外協力隊 ナミビアでの活動報告



同僚と算数の話し合いの様子。定期的に教材や指導方法を共有する。

川畑さんの活動内容

石川県志賀町出身 2021年度1次隊
派遣国:ナミビア 職種:小学校教員

2021年9月から青年海外協力隊員としてナミビア共和国に赴任し、ウサコス町エロンゴサ小学校に配属される。小学4年生から7年生を対象とした算数、P.C、体育の指導、また同僚教員への指導教材や方法の提案・作成に従事している。算数の授業では指を使って計算をする児童が多いため、四則演算力の向上に励んでいる。

ウサコスの美しい夕日です。太陽が地平線に沈んでいく様子を毎日見ることが出来る。



算数の授業の様子。紙を使わず、パワーポイントでフラッシュカードのように使う。



ウサコス駅の様子。炭鉱業用の鉄道の中継地点として駅を中心に町が建設された。



Q2:任国ナミビアの文化・習慣で驚いたこと・任国のお気に入りのスポットを教えてください。

ナミビア共和国の文化で驚いたことは、毎週、金曜日にブライ(BBQ)をすることです。焼肉が大好きなので、毎週、お肉を食べることができて幸せです。お気に入りの場所は、ウサコス駅で、町の歴史を感じることが出来ます。

Q3:今後の活動の抱負をお願いします。

現在、算数における児童の学力向上に向けて、同僚と協力し、新しい指導方法を考えています。その際に、自分の思いのみを突き通すのではなく、しっかりと算数教員の意見を取り入れ、お互いの考えをすり合わせていきたいです。一緒に授業を考え、実践していく過程で教員の授業力向上を図っていきたいと思います。

Q1:活動を始められて3か月程度経過しましたが、感想(大変だったこと)は何ですか?

活動の課題は、算数において児童の学力を向上させたり、効果的な指導方法を同僚に提案したりすることです。昨年度、児童は2日に1度しか登校しておらず、4・5年生の約20%の児童がテストで35点以下の成績を取りました。コロナ禍における学力の低下は著しく、同僚と協力して新たな指導方法を考えていく必要があります。



世界もあなたも、可能性に満ちている。

さあ今こそ、自らの手で、明日を創りにいこう。素晴らしい仲間と、あたらしい自分に出会えるはずだから。今こそ、世界へ。未来が生まれる、最前線へ。

個別相談
実施中



新しい観光の形を考えよう —オンラインでの学びあい—

課題別研修「観光開発政策」コース

実施期間	2021年11月1日～30日
研修実施機関	北陸先端科学技術大学院大学・一般財団法人地域振興研究所
対象国	アゼルバイジャン、ウズベキスタン、エジプト、コンゴ民主共和国、イラン、キルギス、タジキスタン、タンザニア、レソト(9カ国)

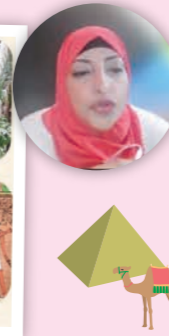
コロナ禍で観光産業は世界的に大打撃を受けており、それは開発途上国も例外ではありません。自国の実情に合った観光政策を立案できるよう、この研修では、地域の魅力を活かした観光コンテンツづくりや地域を巻き込んだ体制の構築方法など日本の事例からあらゆる手法をインプットしました。2月18日(金)オンラインセミナーで、その学びの様子を一般公開しました。開催報告はJICA北陸ホームページまで!



▲金澤町家を活用した宿泊施設でのバーチャルツアー



▲大エジプト博物館で働く研修員の最終発表



▲オンラインで加賀水引細工の製作体験もしました!